

保健医療福祉行政論Ⅱ（実践・演習）

単位数（時間数）：2 単位（30 時間） 必修/選択：選択 履修年次：4 年次 開講時期：前期

科目責任者（職位・氏名）：教授・佐藤公子

科目担当者（職位・氏名）：助教・石田知世、助教・磯島実奈

対応DP：基礎力をもった社会人 ケア・スピリット 看護専門職者としての基本姿勢
看護の基礎的・専門的知識と技術 社会への関心と地域貢献 生涯学習・自己研鑽

科目記号：88

■ 授業概要

公衆衛生看護においてその活動を行政組織のなかで事業化する理論と方法について保健・医療・福祉の広い視野から教授する。また、具体的事例を取り上げ、演習を交えて実践的に教授していく。

■ 到達目標

1. 公衆衛生行政の各分野における行政体系を理解する。
2. 行政組織の特徴と保健師活動の関連について理解する。
3. 保健師が行う地域づくりの定義、目的と方法について理解する。
4. 政策形成（政策・施策・事業）について理解する。
5. PDCAサイクルによる継続的な改善活動について理解する。

■ 教育内容

保健医療福祉行政論

■ キーワード

保健医療福祉計画、政策、施策、事業、策定プロセス、評価

■ 授業計画（授業項目、授業内容・授業方法、担当教員）

回	授業項目	授業内容・授業方法	担当
1	ガイダンス 保健医療福祉の地域づくり	ガイダンス 行政の仕組みと機能 保健医療福祉の計画・実施・評価	佐藤
2	保健医療福祉行政と保健師の地域づくり	保健師の活動の目的、役割、機能 地域を対象とする活動の特徴 保健師の活動と地域づくり	佐藤
3	社会保障・福祉制度①	社会保障制度の理念としくみ 医療制度	佐藤
4	社会保障・福祉制度②	年金保険 公的扶助 社会福祉	佐藤
5	社会保障・福祉制度③	介護保険制度	佐藤
6	事例演習①	施策化のための事例検討	共同
7	事例演習②	同上	共同
8	事例演習③	同上	共同
9	実習に向けた演習①	事業計画の作成	共同
10	実習に向けた演習①	同上	共同
11	実習に向けた演習③	事業計画に則った準備	共同
12	実習に向けた演習④	同上	共同
13	実習に向けた演習⑤	同上	共同
14	実習に向けた演習⑥	同上	共同
15	演習のまとめ	演習のふりかえり、まとめ	共同

■ 履修条件

公衆衛生学概論、公衆衛生看護方法論、公衆衛生看護活動論Ⅰ・Ⅱ、公衆衛生看護管理論、保健医療福祉行政論Ⅰの単位を取得していること。

■ 成績評価方法

期末試験 60% 演習 40%

■ 課題（試験やレポート等）に対するフィードバック方法

- ・演習については、最終回の授業時に解説を行う。
- ・希望者に対して、試験のフィードバックを行う。希望者は、事前にアポイントを取ったうえで、科目責任者の研究室を訪ねること。

■ 教科書

麻原きよみ他編（2022）『これからの保健医療福祉行政論 第3版 2022年版』日本看護協会出版会

■ 参考書・参考資料等

- ・厚生労働統計協会編（2024）『国民衛生の動向 2024/2025』厚生労働統計協会
- ・藤内修二他編（2025）『標準保健師講座別巻1 保健医療福祉行政論 第6版』医学書院

■ 準備学修に必要な時間及び具体的な学修内容

- ・事前学修：シラバス該当箇所のテキストおよび参考資料を読了しておくこと。
 - ・事後学修：配布資料を確認し、理解に努めること。
- 事前・事後学修は、それぞれ90分程度行うこと。

■ 担当教員からのメッセージ

公衆衛生看護活動を行政組織の中で事業化する理論と方法について、具体的事例を取り上げ演習していき、保健師の保健活動の理解を深めましょう。日頃から社会情勢に関心を持ち学修に活かしましょう。

■ 研究室、連絡先、オフィスアワー

研究室 12、kisato★iwate-uhms.ac.jp、各授業日 17:00 まで

(※メールの際は★を@にしてください)

■ 担当教員の実務経験の有無

有

■ 担当教員の実務経験

看護師、保健師

■ 教員以外で指導に関わる実務経験者の有無

無

■ 教員以外で指導に関わる実務経験者

■ 実務経験を活かした教育内容

保健師の実務経験を活かして、専門的かつ実践的な講義をしています。